



さかそう通信

Sakaso

「ともにさかそう 笑顔とお互さまのまち 阪南」～ 自分を取り巻く人や自然などの環境と繋がり、互いに慈しみ、思いやり、感謝し、自らができる役割を担いながら【お互いさま】、市民や各種団体、事業者、市役所が協働して【ともに】、市内に花を咲き誇らせ、緑を大切に自然を守る【花を咲かせる】、産業や地域資源を活かしてまちを発展させる【まちを栄かせる】、人(人財)を大切にする【人を咲かせる】ことにより、市民みんなから笑顔がこぼれる【笑顔を咲かせる】まちにしていこう～「さかそう通信」お届けします。

こんにちは。市議会議員の上甲です。今回のさかそう通信29号前半は、6月議会のニュース・報告をランキング形式にて、後半裏面は二元代表制について市長・市役所と議会(議員)の関係をまとめたいと思います。

第1位。

議員定数を2名削減

ここ何年も議論になっていた市議会議員定数について、阪南市の人口減少をはじめとする様々な状況と、近隣市町の現状を鑑みた結果、市議会議員定数を今までの16名から2名削減し14名に変更する条例改正を賛成多数で議決いたしました。2名減の財政効果は年間約1千6百万円です。今までも平成9年に2名、平成13年に2名、平成21年に4名削減してきましたが、更なる議会改革と議会経費の削減が必要であるとの判断です。

第2位。

総合子ども館の交付金返還

子育て拠点整備において、旧家電量販店の活用しない方針を市長が打ち出したことにより、購入のためにいただいた国の交付金、約3億6千7百万円を返還する補正予算が全会一致で議決しました。財源は、うち約2億円を、市民の大切な財産である地域福祉基金を廃止して、残

りは一時的には基金から借り入れますが、今年度末に一般財源から返還します。市の財政に大きな影響があるため、一日も早く旧家電量販店の今後、そして子育て拠点整備の今後について方針を示し、具体的に動かなければいけませんね。

第3位。

尾崎幼稚園の耐震補強

尾崎幼稚園は先の耐震診断結果が悪かったため、現在、はあとり幼稚園の場所で教育を行っています。年度末までに尾崎幼稚園の補強工事を終わらせるべく実施設計費用466万円が補正予算として議決されました。しかし阪南市内の子育て拠点整備について今後の方針も決まっていないままで、の工事は無駄な投資に繋がってしまう可能性があります。市長の方針が待たれます。



尾崎幼稚園の木造園舎

番外編。

上甲の一般質問より

今回の私の一般質問は「地域自治について」聞かせてもらいました。地域の事を皆さんがどうワガゴトとして考え、議論し、決定し、実行していくか、子達にバトンタッチするか、その辺りを質問させてもらいました。詳しくは全戸配布の議会日より、インターネットを参考していただきたいと思います。但し、議論の中で一点だけ、先日の「さかそう会(裏面上段参照)」でも、たくさん意見を頂きましたが、

情報公開・情報共有について・・・

市長は「密室からガラス張りへ、情報共有の徹底」と公約、当選をし、そして今回の質疑に対する答弁でも「市の施策・事業は本市ホームページで公開し、職員が現地に向いて市民へ説明するなど、市の説明責任を果たすことで透明性が確保されると考える。」と仰ってますが、個人としてはまだまだ市民が十分に情報を得られていないと感じておりません。もっと積極的に街に Outreach 市民に寄り添う、しっかりと説明・意見交換を行う。その情報をもって将来の阪南市を見据えた判断・提案が必要になってくるように思います。



ほぼ毎日更新中!

<http://mac-joe.net/>

阪南市のお得情報、イベント、
こんなこと知りたかった、満載!!



上甲誠市政報告座談会
さかそう会
【毎月】開催してます。

第12回
7月15日(土)
第13回
8月26日(土)

10時 ~ 11時
あたごプラザ
ももの部屋

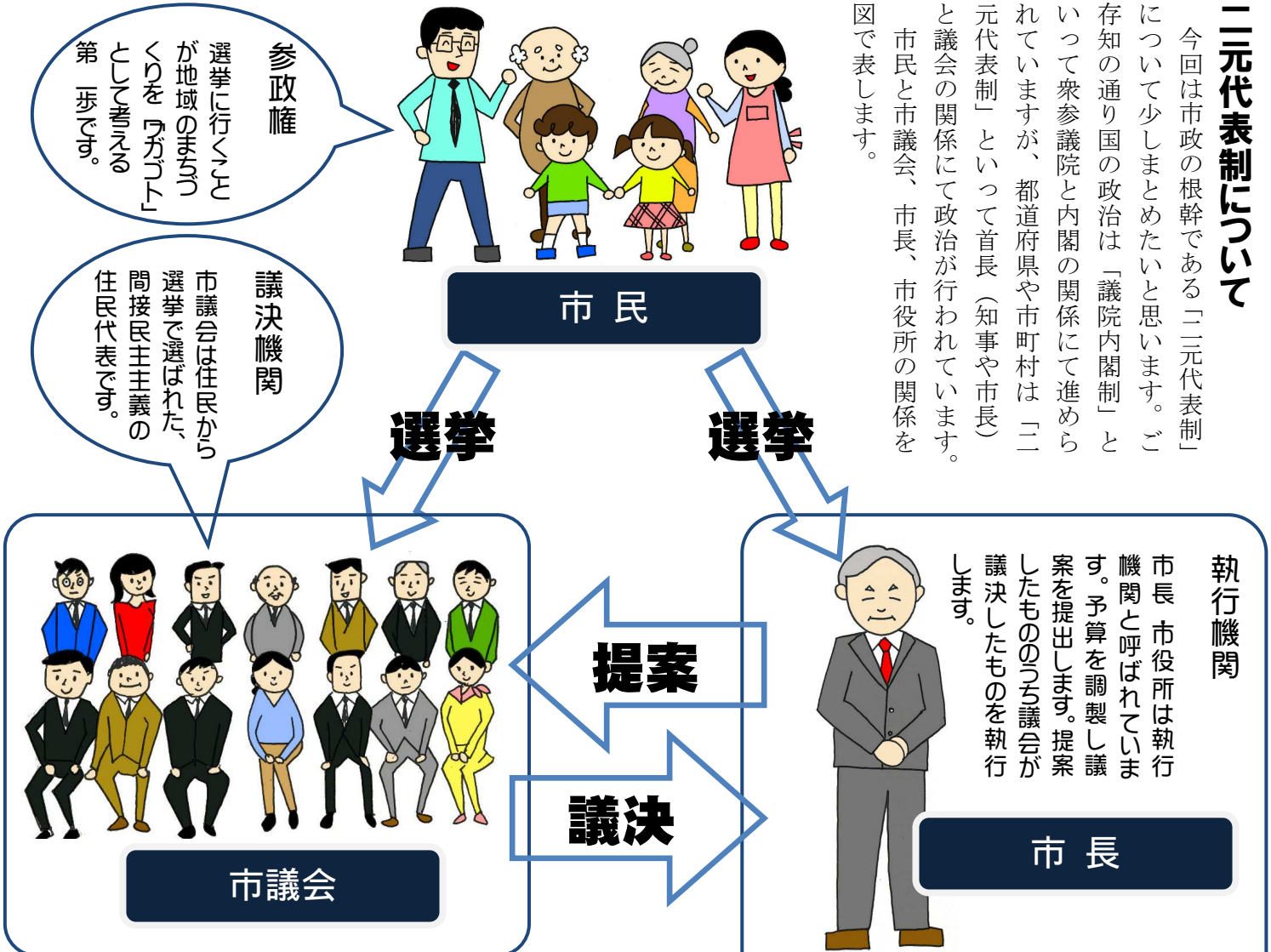
市政相談・お問い合わせ
お気軽に



上甲誠市政相談所
大阪府阪南市舞 4-30-2
電話 072-474-9211
メール mac@j.zaq.jp

二元代表制について

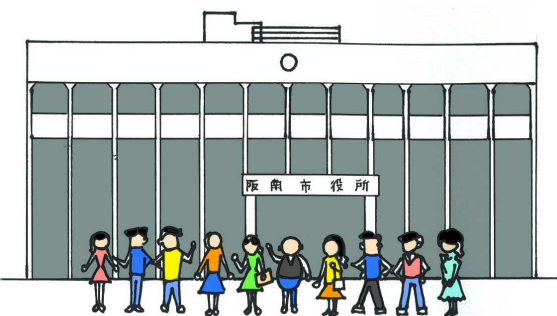
今回は市政の根幹である「二元代表制」について少しまとめたと思います。ご存知の通り国の政治は「議院内閣制」といって衆参議院と内閣の関係にて進められていますが、都道府県や市町村は「二元代表制」といって首長（知事や市長）と議会の関係にて政治が行われています。市民と市議会、市長、市役所の関係を図で表します。



最後の最後までお付き合いいただきまして、ありがとうございました。
これからも一生懸命頑張ります。
ブログ・後援会も含めて今後ともよろしくお願ひします。

阪南市議会議員 上甲 誠

上の図を見てもらっても分かるように、議会と市長の関係は対等です。二元代表制の弱点は、議会と市長が対立し合意が全くななくなると、行政自体が止まってしまい、何も決まらない、何も進まないということに陥ってしまうことです。お互いに馴れ合いではいけないのは当然ですが、市の将来を考えると滞らせず、前向きな議論をしなければなりません。



市役所